

屋根材に穴をあけずに省力施工！ 新型折版「サンコールーフロック® 130」の販売開始について

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木栄一）は、省力施工をテーマに開発を進めてきた新型の折版屋根「サンコールーフロック 130」について、2025 年 1 月より販売を開始いたしました。

「サンコールーフロック 130」の特長は以下の 3 点です。

1. 省力施工

- ・タイトフレーム（折版を鉄骨梁に接合するための金具）を溶接（ビス止めも可）した後は、専用工具を一切使用せず屋根材を踏み込むだけで屋根葺きが完了。
- ・また、屋根材同士が強固に嵌合（かんごう）するため、従来工法（ルーフデッキ等）で必要であった剣先ボルト部の打ち抜き、三点セット（ナット・特座・パッキン）や中間緊結ボルトによる締め付けが不要。
- ・これらにより従来工法（ルーフデッキ）と比較し、屋根葺きの工程を約 60%削減*。

2. 強度

- ・屋根材の山高を 130mm とし、面材にリブ加工を施した独自の断面形状により、従来工法（ルーフデッキ）と比較し同等以上の強度を有する。

3. 耐久性

- ・屋根材に穴をあけないことで経年劣化による腐食や雨漏りのリスクを低減。
- ・屋根材には、日鉄鋼板株式会社の次世代ガルバリウム鋼板「SGL®（エスジーエル®）」を標準材として採用。
- ・タイトフレームには、日本製鉄株式会社の高耐食めっき鋼板「ZAM®（ザム）」を採用。

*当社にて施工検証した記録による。 *「SGL(エスジーエル)」は日鉄鋼板株式会社の登録商標です。 *「ZAM」は日本製鉄株式会社の登録商標です。

【商品概要】

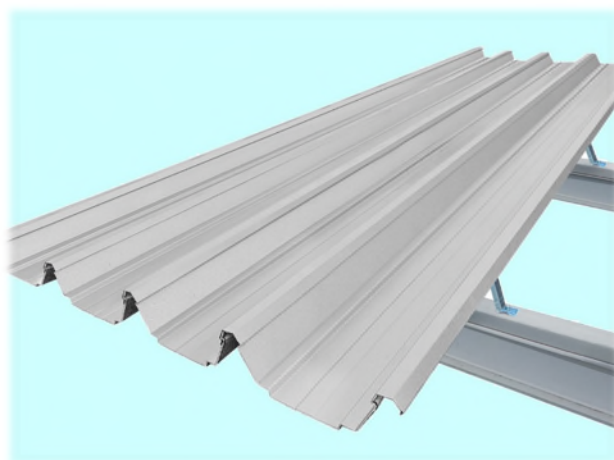
商品名称：「サンコールーフロック 130」

使用条件：板厚 0.6mm、

屋根勾配 3/100 以上、

自然曲げ半径 $R \geq 400m$

販売開始時期：2025 年 1 月～



【 施工手順（従来品との比較） 】

—— 従 来 品 ——

- 1 タイトフレーム
取り付け
(溶接・ビス止め)
- 2 屋根材仮伏せ
- 3 剣先ボルト部を、
呼び出しポンチ
(打抜きタガネ)で
打ち抜く
- 4 三点セット
(ナット、特座、パッキン)を
取り付ける
- 5 ナットを
工具で
締め込む
- 6 中間緊定
ボルトを
専用工具で
締め込む

—— サンコールブロック®130 ——

- 1 タイトフレーム
取り付け
(溶接・ビス止め)
- 2 屋根材仮伏せ
- 3 踏み込むだけで
完了

屋根材を重ねた際の踏み込みポイント

【底部】 上嵌合底部を、
緊定部から
スパン中間部まで、
踏み込むだけ

【頂部】 上嵌合頂部は、
緊定部と
スパン中間部を
踏み込むだけ

三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして、これからも「空と人のあいだに」ある屋根の可能性を追求することで、豊かな未来づくりに貢献してまいります。

以 上